

熱川温泉病院

古山 信弥(総務担当 主任)

功 績 平成21年4月入職以来、一貫して物品調達業務に従事、今年度に入り特に消耗品の調達コストや電力料金等の削減に取り組んだことで、当院の経営に大きく貢献した功績。

推薦者氏名 芳賀 聖也(事務部長)

推薦理由 古山主任は、誠実さと強い責任感をもって当院の運営を支えてきました。物品調達や各種調整において高いコスト意識をもって、継続的な業務改善を実践し、併せて医療廃棄物削減や電気料金見直しなどにより、病院経営に大きく貢献しています。これまでの実績と業務に向き合う姿勢は他の職員の模範であり、理事長賞にふさわしい存在ですので、ご推薦申し上げます。

内 容

総務業務一筋で当院を支えてきた古山は入職17年目を迎えました。誠実で責任感が強く、常に病院全体の円滑な運営を第一に考え行動する姿勢は、多くの職員から厚い信頼を得ています。総務という立場上、その功績が表に出ることは少ないものの、物品購入や各種調整業務を通じ、まさに縁の下の力持ちとして病院運営に欠かせない存在です。その仕事ぶりが評価され、昨年度より主任に任ぜられています。

彼の仕事ぶりで特筆すべきは、コスト意識の高さと継続的な業務改善への取り組みです。一般消耗品はコピー用紙、紙コップ、ゴミ袋から給茶機のレンタル料・茶葉に至るまで、医療消耗品では吸引カテーテル、グローブ、清拭ワイパーなどの選定を見直しながら日常的な調達コストの削減を積み重ねてきました。また、使用済み経管栄養セットの分別ルールを新たに定めた結果、医療廃棄物の減量により年間150万円の委託料削減に繋がりました。最近も12月に開催されたチーム医療症例検討会で抄録300冊を製作した際は、品質とコストのバランスがとれている印刷業者を選定し、昨今の物価高のなか、低コストで製作することができました。この背景には病院毎に仕分けするなどの事務作業を業者ではなく、自分たちで行ったということもあります。

現在、古山が取り組んでいるのが電気料金削減です。5年前も電力会社の見直しにより年間約400万円の削減を達成しましたが、原油価格高騰により1年後には再度の契約見直しを余儀なくされました。それでも諦めることなく機会を窺い、今年5月より再度電力会社の変更を実行し、6ヶ月で200万円の電気料金削減に成功しました。

古山が入職以来、ひたむきに取り組んできたこれら成果は、当院の安定した経営基盤の確立に大きく貢献するものであると同時に、他の職員の模範であり理事長賞にふさわしいと考え、ここに推薦いたします。